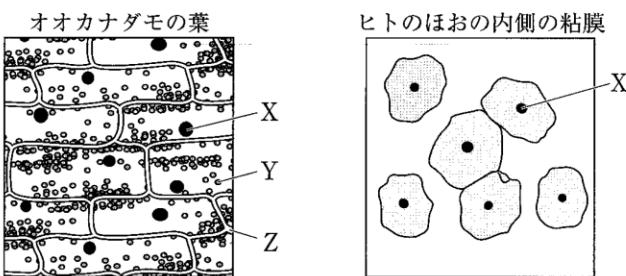


- 1 オオカナダモの葉とヒトのほおの内側の粘膜をそれぞれスライドガラスにのせ、染色液を1滴落としてプレパラートをつくり、顕微鏡で観察しました。次の図はそれぞれの観察結果で、Xはどの細胞にも1つずつあり、染色液で赤く染まっていました。これについて、以下の問いに答えなさい。



(1) 図のXは、オオカナダモの葉の細胞とヒトのほおの内側の粘膜の細胞に共通して見られたつくりです。①図のXのつくりを何といいますか。名称を答えなさい。また、次のうち、②図のXを染色するために用いた染色液として最も適当なものはどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ベネジクト液 イ フェノールフタレンイン液  
ウ 食紅 エ 酢酸オルセイン液

(2) 図のY、Zは、ヒトのほおの内側の粘膜の細胞には見られず、オオカナダモの葉の細胞だけに見られたつくりです。これについて次の各問いに答えなさい。

- ① 図のYは、1つの細胞に多数見られる緑色の粒です。このつくりを何といいますか。名称を答えなさい。  
② 図のZは、細胞の一番外側にある、体の形を保つことに役立つつくりです。このつくりを何といいますか。名称を答えなさい。

(3) オオカナダモやヒトは、多数の細胞から成り立つ多細胞生物です。これについて次の各問いに答えなさい。

- ① 次の文は、多細胞生物の体の成り立ちについて説明したものです。文中の [a]～[c] にあてはまるものをあとからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

多細胞生物は、形やはたらきが同じ細胞が集まって [a] をつくり、いくつかの [a] が集まって、1つのまとまった形をもち、特定のはたらきをする [b] をつくる。そして、さまざま [b] が集まって、オオカナダモやヒトといった [c] として体が成り立っている。

- ア 組織 イ 個体 ウ 器官

- ② 次のうち、多細胞生物はどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。

- ア イ ウ エ



- (1) 植物の細胞と動物の細胞に共通して見られるつくりのうち、酢酸オルセイン液や酢酸カーミン液で赤く染まるつくりは核です。普通、核は1つの細胞に1つずつあります。  
(3)① 多細胞生物は、細胞が集まって組織をつくり(オオカナダモの葉肉・ヒトの粘膜)、組織が集まって器官をつくり(オオカナダモの葉・ヒトの口)、器官が集まって個体(オオカナダモ・ヒト)として体が成り立っています。  
② ミカヅキモ(イ)、ゾウリムシ(ウ)、ハネケイソウ(エ)は、単細胞生物です。

	①	かく 核
(1)	完答	
(2)	工	
	ようりょくたい 葉緑体	
(2)		
(2)	さいばうへき 細胞壁	
(3)	a ア b ウ c イ	
(3)		
(2)	ア	